

4月論文講座を4月20日(土) 10:00~12:00に開催しました。

会 場 愛知文教大学 201教室

講 師 学び合う学び研究所所長 中島 淑子 先生

先生方の関心事や経験から様々なことを学んだ。一つ目は、検証の方法である。このテーマは、自分も悩んでいることだったが、同じような悩みを抱えている方がいた。特に印象に残ったことは、「検証できないことはやるな」ということである。子どもの言葉に注目していく方法も興味深いと思った。二つ目は、自分たちで課題を見つけることの大切さである。自分もこれまで大切にしてきたことなので、与えるだけでなく教材研究や授業デザインについて再度尽力したいと思った。

実践論文を書くことで、今まで自分のやってきたことを客観視でき、振り返ることができ、そこから新たな課題を見つけられることがわかった。しかし、論文を書く上で、どう検証すれば、成果に繋がるのが難しいので、検証方法が具体的に考えられるテーマを設定することが大切だと分かった。今日、先生方と困っている課題を出し合う中で、身近なところから「種」を巻いてみて、テーマを考えていくのが良いのではないかと思った。

日々授業に追われる中、まとめていくことの大切さを実感しました。再定義していく中で、自分の中で定着していくことがわかりました。特に印象に残っていることは、振り返り(感想)の分析方法はすぐにできると思いました。授業で求めているキーワードを検証していきたいと思います。そして、そのための手立てを今後研究していきたいです。